

PTX[Alb 懸濁型]+Pertuzumab + 【BS】Trastuzumab tri-weekly 療法

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

PTX[Alb 懸濁型]+Pertuzumab  
+【BS】Trastuzumab tri-weekly 療法

3 週毎      コース予定

疾患名      乳 癌

主治医                      指導医                      HBs 抗原( + - )    HBc 抗体( + - )    HCV 抗体( + - )

スケジュール

		day 1
パージェタ(ペルツズマブ)	【初回投与】 840mg/body	↓
	【2 回目以降】 420mg/body	
トラスツズマブ BS	【初回投与】 8 mg/kg	↓
	【2 回目以降】 6 mg/kg	
アブラキサン[パクリタキセル(アルブミン懸濁型)]	260 mg/m <sup>2</sup>	↓

- 【注意】 \* パクリタキセル(アルブミン懸濁型)は投与時、インラインフィルターは使用しないこと。
- \* パクリタキセル(アルブミン懸濁型)は特定生物由来製品であるため同意を取得すること。
- \* トラスツズマブは投与予定日より1 週間を越えた後に投与する際、改めて初回投与量の 8 mg/kg で投与を行う。なお、次回以降は 6 mg/kg を 3 週間間隔で投与する。
- \* トラスツズマブは初回投与時 90 分以上かけて、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降(トラスツズマブ既接種者も含めて)の投与時間は 30 分間まで短縮できる。
- \* ペルツズマブは投与予定日より 3 週間以上後(前回投与日から 6 週間以上後)に投与する際、改めて初回投与量の 840mg で投与を行う。なお、次回以降は 420mg を 3 週間間隔で投与する。
- \* ペルツズマブは初回投与時 60 分かけて、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。

☆通常量より減量する際の理由☆

PTX[Alb 懸濁型]+Pertuzumab + 【BS】Trastuzumab tri-weekly 療法

(レジメン)

day 1

① 生食 500 mL で血管確保 維持 (20mL/時間)

② パーージェタ + 生食 250 mL 点滴静注

【840mg 投与時】 60 分以上

【420mg 投与時】 30 分以上

② トラスツズマブ BS + 生食 250 mL 点滴静注

【8 mg/kg 投与時 : mg】 90 分以上

【6 mg/kg 投与時 : mg】 30 分以上

④ デキサメタゾン注 6.6mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

⑤ アブラキサン + 生食 100 mL 点滴静注 30 分

\* アブラキサン 1 バイアルに対し生食 20 mL で懸濁後(5 mg/mL)、必要量抜き取り、  
空の点滴バック(残った生食はすべて抜き取る)に注入する。

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュして抜針

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
パーージェタ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
トラスツズマブ BS 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
アブラキサン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								